

石の匠通信

2018年春創刊号

篠原石材工業有限公司

埼玉県草加市苗塚町325-2

TEL : 048-928-6652

<http://shinoharasekizai.com>



石の匠通信 を創刊しました！

この度篠原石材では、ご縁を頂いたお客様に向けて情報誌を発行することにいたしました。

当社でお墓を建てていただいた方や、お墓のメンテナンスをご依頼していただいた方、当社でご納骨をさせていただいた方を対象にお届けいたします。

最近お寺で会った方から、お墓掃除の方法や法事などの宗教行事について聞かれることがよくあり、多くの方に「もっと早く聞いておけばよかった」といった声をいただきました。

せっかく頂いたご縁ですので、小さいことでも気軽に聞いていただける関係を保ちたいと思い、私たちを身近に感じていただけるような情報誌を発行するに至りました。

この「石の匠通信」を通してお墓のことや仏教のことはもちろん、私たちのことやちょっとお役に立ちそうなことなどを発信していければと考えています。

今後ともよろしくお願いいたします！

まずは自己紹介をさせてください！

篠原石材は埼玉県草加市の石材店で、親子2人で仕事をしています。

60年ほど前に創業し、現社長の雅之が2代目、匠が3代目になります。

25年前まで足立区に会社があったので、今でも足立区を中心に仕事をしています。



お墓を大切に思ったださるお客様を大切にしたいという思いから、最近ホームページを開設したり、石の匠通信を創刊したりして情報を発信し始めました。

昨今様々なお墓の形態が出てくる中で、やっぱり自分の家のお墓があって良かったと思っていただける方が増えるように、お墓を守ることへのサポートを頑張っていきたいと思います。

篠原 雅之 55才



父が石屋として独立し、小さな頃から作業場に出入りして多くの職人さんに囲まれて育ちました。

父はもちろん、周囲からも家業を継ぐのが当たり前と言われ(洗脳され?)、小学校の文集の「将来の夢」には他の子が、パイロット・野球選手・医者などと書いている中、石屋と書くような夢のない小学生でした(笑)

高校を卒業してそのまま家業に入り、現在では石屋歴37年になります。

18才から見習いとして修行を始めましたが、22才の時に突然父が亡くなり、いきなり親方という立場になりました。

当時、職人への支払いは晦日と14日の月2回で、そのたびに現金を工面するのが大変でした。

時折仕事が切れる中、職人さんには手間を払わなければならないので、仲間の石屋さんに手間稼ぎで使ってもらったりして何とか凌いでいました。



真ん中の子どもが私、その左が父です

50才を過ぎた頃から、いろいろな石造物の知識のある先輩方と知り合い、年1回を目標に重要文化財の宝篋印塔(ほうきょういんとう)や、磨崖仏(まがいぶつ)など、さまざまな石仏を観て回る事が楽しみになっています。

最近では観るだけでなく、自分でも手を動かして作ってみようという知り合いの先輩に教わりながら挑戦しています。

篠原 匠 30才

大学時代に石屋の仕事を手伝っていましたが、その頃は石屋になるつもりは全くなく、普通に就職活動をして卒業後はインターネット証券の会社に入社しました。

よく「上がりそうな株があれば教えて」と言われますが、それがわかれば石屋はやっていません(笑)

4年間勤めた後、26才の時に石屋の道に入りました。



趣味は小学生の頃から続けているバスケットボールで、今でも週に一回、近所の体育館を借りて続けています。

年々体力が低下して、走れない、飛べないのはもちろんのこと、最近では疲れが取れない、筋肉痛がなかなかこないなど、かなり辛くなってきました(^_^;)

大学4年生の時に世界一周の一人旅に行きました。学生最後の夏休みを利用して60日で10か国という今思えばかなり無茶なスケジュールで行って来ました。

トラブルも色々ありましたが、貴重な経験がたくさんできた良い思い出です。

右の写真は一番印象的だった、南米ボリビアのウユニ塩湖です。



長男が幼稚園に入園しました

先日長男の入園式があり、参加してきました。
この間生まれたかと思っていましたが、子どもってあっという間に大きくなるものですね。

日々できることが増えてきて、こうして成長していくんだなあと
しみじみ思っています。
幼稚園にも早く慣れて楽しんでくれば良いなと思います。



家でも元気いっぱい、1歳の次男も一緒になって「追いかけてこ」や「たたかいゴッコ」など、毎日うるさいくらいです。特に「たたかいゴッコ」はすごいエネルギーでぶつかってくるので、だんだん付き合うのが大変になってきました。妻は巻き込まれるのを本気で嫌がっています(笑)

私もときに大人げなくムキになってしまう場面もありますが、子どものパワーに負けないように頑張っています！

仏教クイズ Q&A



Q1 仏教は文字通り仏が説いた教えです。仏はサンスクリット語のブッダ(Buddha)を漢字にあてはめた「仏陀」がもとになっていますが、このブッダとはどんな意味でしょう？

- ①求める人 ②目覚めた人 ③慈愛に満ちた人

Q2 仏教を開いたブッダを日本ではお釈迦さまと呼んでいますが、この釈迦とは何を指している言葉でしょう？

- ①ブッダの幼時の愛称 ②教団内の尊称 ③ブッダの出身種族の名前

<解説>

紀元前5世紀ごろのインドでは、生と死を永遠に繰り返す「輪廻転生」の束縛から逃れるために、多くの人が修行を積んでいました。その厳しい修行を完成させ、輪廻転生から自由になった人を「ブッダ」と言いました。**ブッダは「目覚めた人」という意味**で多くの人々がブッダになる修行に挑戦してきたのです。

その困難な修行を初めて完成したのが「ゴータマ・シッダータ」という男でした。それ以来、人々はその男を「ゴータマ・ブッダ」あるいは単に「ブッダ」と呼び、ブッダの教え＝「仏教」の開祖としました。

仏教の開祖となったゴータマ・シッダータは「ブッダ」と呼ばれましたが、日本ではよく「釈尊(しゃくそん)」と言われます。

釈尊は「釈迦牟尼世尊(しゃかむにせそん)」の略称で、「**釈迦**」は**ゴータマが生まれたシャキーヤ族**、「牟尼」は聖者、「世尊」は偉い人を指しています。

そこから親しみを込めて、「お釈迦さま」というようになりました。





春が旬の食材

アスパラガス



●成分

- ▼たんぱく質や脂質を含み、カロテン、ビタミンC、ビタミンB群、ビタミンEなどのビタミン類、亜鉛や鉄分などのミネラル類を含有している。
- ▼穂先にはルチンが含まれ、アミノ酸の一種であるアスパラギン酸が含まれている。

●効能

- ▼カロテンが粘膜を強化して免疫力を高め、血管や皮膚を丈夫にするビタミンCと一緒に、**風邪を予防し美肌を作る。**
- ▼ビタミンEが体内の過酸化脂質を予防するので**老化防止の効果も高い。**
- ▼鉄分はビタミンCの働きで吸収率が高まり**貧血予防に有効。**
- ▼ルチンは毛細血管を強化し、高血圧や動脈硬化の予防に働き**利尿効果も期待できる。**
- ▼アスパラギン酸はたんぱく質代謝に働き体力を強化し、たんぱく質やビタミンB群と一緒に、**滋養強壮や疲労回復に効果がある。**

●調理のポイント

- ▼ゆでる時は茎の方から先に入れ、1分くらいゆでてから穂の部分を入れ、ゆで上がりの状態を均一にする。ゆで上がったらずるに広げて冷ます。
- ▼根元部分はかたいので、少し切り落とし、皮をむくとやわらかくなる。はかま（爪）は新鮮なら取り除く必要はない。
- ▼時間が経つほどかたくなるので、購入したらまずかためにゆでること。冷凍保存にしたときは冷凍したまま調理する。

血圧上昇が抑えられる食べ合わせ

アスパラガス・アジ・じゃがいもの香味たたき



◆食材（2人分）

・アジ	2尾（300g）	
・アスパラガス	3本	
・じゃがいも（中）	1／2個	
A {	青じその細切り	3枚
	しょうがの細切り	1片
	ねぎのみじん切り	4cm
・酢じょう油、わさび	各適量	

- ① アジは頭と内臓を取り、三枚におろす。中骨を抜き、塩を振ってからヒタヒタの酢に約30分漬けた後、皮をむき、5mm幅の細切りにする。
- ② アスパラガスは塩を入れた熱湯で茹で、斜め薄切りにする。
- ③ じゃがいもは細切りにし、熱湯でさっと茹でる。
- ④ ボウルにアスパラガス、アジ、じゃがいも、Aを入れ和える。
- ⑤ ④を器に盛り、酢じょう油とわさびを添える。